



安井光子 議員

安心して利用できる 介護保険制度の見直しを

問

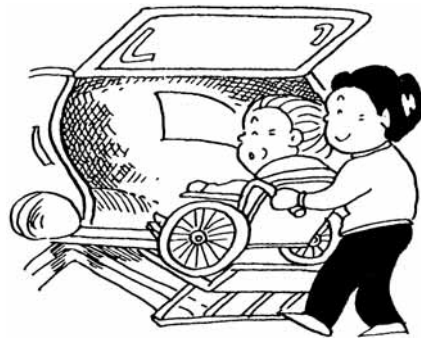
介護保険制度について尋ねる。

(1) 国は、市の21年度予算編成後に、4月から始まる介護システム改定の説明会を開いた。

あまりにも遅く、市民、国民をないがしろにしたやり方を、市長会を通じて、国に改善を求めてもらいたい。

(2) 第4期介護保険制度は策定委員会へ審議、検討し、計画の策定が行われたと聞いた。

計画案の段階で市民や議会に公開し、意見を求めるのが本来の姿ではないか。
(3) 第4期介護保険料は、高齢者の負担引き下げのためどう検討したのか。
(4) 介護保険料の減免をどう改善したのか。



50円安い基準月額に決定した

答 市長

(1) 国の責任は重要になってくると思う。いろんな形で話をしていきたい。また介護を受ける立場に立って考えていきたい。
(2) 委員のそれぞれが、その立場に立ってしっかりと仕事をしている人たちの話を聞きながら、最終的にまとめたものである。

答 民生部長

(3) 経済状況等を考慮し、保険料据え置きを基本として調整してきた。

(基準月額【】は3期より50円安い3、4500円と決定した。

保険料は本人や世帯の所得に応じて6段階に分けられており、その基準となる月額。

答 介護高齢課長

(4) 新たな収入基準による減免規定を追加した。従来の所得減少基準と新規の生活保護法による保護の基準に規定する生活保護費の基準を併用し、減免額の大きい方を採用する方式とする。

飛島村バスに助成しバス停の復活を

問

飛島公共交通バスについて尋ねる。

(1) 事業を承知しているか。

(2) 蟹江町と偕行会リハビリ病院(神戸地内)も、運行経費の助成(をして任意の指定場所へのバス停設置)をすると聞いている。市も助成をして、(廃止された)三重交通バス停の復活をしてもらいたい。

現在のところは考えていない

答 防災安全課長

(1) 三重交通の路線バス、飛島蟹江線が21年3月をもって運行が廃止された。これに伴い、4月から飛島村が自主運行するものがある。

(2) 飛島公共交通バスへの参画は現在のところ考えていないが、全国では生活圏や財政上の利害関係が解消され、複数の市町村で地域公共交通会議を立ち上げた所もある。

将来的にそういう機運になってきた段階で検討する問題だと考える。